

The logo for CBC (Chubu-Nippon Broadcasting Company) is displayed in a stylized, white, rounded font against a red background.

中部日本放送株式会社

第93期報告書

2018年4月1日～2019年3月31日



証券コード 9402

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第93期報告書(2018年4月1日から2019年3月31日まで)をお届けいたします。

民間放送のパイオニアとして歴史を先導してきた当社は、来年創立70周年を迎えます。

令和という新たな時代を迎え、当社グループを取り巻く環境変化はさらに加速していくことが予想されます。その中で、当社グループがこれまで通り、放送という公共性の高い事業を中核に、地域で最も信頼されるメディア企業グループとして、地域社会の経済や文化の発展に寄与するという社会的使命を確実に果たしていくためには、6年目を迎えた認定放送持株会社を中心とする「Webフォーメーション」体制を更に進化させ、グループ全体の基盤をより強化し、将来にわたって成長エンジンを回し続けていく必要があると考えます。

当社グループは当期、「中期経営計画2018-2020」をスタートさせました。当計画においては、「現行ビジネスの強化」「新規事業の創出、拡張」「成長を支える基盤の強化」を重点目標として掲げ、グループの成長を促進しています。

「現行ビジネスの強化」においては、テレビの平日午後帯の自社制作番組が順調に放送エリアを拡大するなど成果を挙げ、今年4月からは、平日午後帯のさらなる改革にも着手しています。「新規事業の創出、拡張」においては、次世代のプラットフォーム並びにコンテンツ流通における新たなビジネスモデルについて検討するとともに、さまざまな企業との連携等を進めながら、新たな事業分野にも取り組んでいます。また、「成長を支える基盤の強化」については、インフラ整備を着実に進め、新たな価値を創造するための人材育成にも取り組みました。

当社グループは、「100年企業」を目指し、大きな変革を飛躍のチャンスとして事業領域を広げ、未来に向かって持続的に成長することで、あらゆるステークホルダーの皆さまに最大の満足を提供できるよう弛まぬ努力を続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年6月



代表取締役社長
杉浦正樹

01

CONTENTS

株主の皆さまへ	01
CBCグループ事業概況	03
テレビ	03
ラジオ	05
イベント・クロスメディア	07
連結業績ハイライト	09
会社情報	11
株式情報・株主メモ	12
会社見学会のご案内	13

02

テレビ

当期の年間平均視聴率は、全日帯(6:00~24:00)が7.4%、ゴールデンタイム(19:00~22:00)が11.9%、プライムタイム(19:00~23:00)が11.8%と、いずれも前期に引き続き2位となりました。

ローカルの枠を超えて全国への展開を目指す情報生ワイド番組『ゴゴスマ～GOGO!Smile!～』(月～金曜 13:55～15:57放送)は、昨年10月に北海道地区、さらに今年4月からは岩手、富山、熊本地区で放送が始まり、これで放送エリアは1都1道18県に拡大しました。

また、情報生ワイド番組『なるほどプレゼンター!花咲かタイムズ』(土曜 9:25～11:30放送)は、11年連続で視聴率同時間帯1位となりました。

報道情報番組『イッポウ』(月～金曜 16:50～19:00放送)は、「家族 つなぐ」をモットーに「最新ニュース」から「身近な生活情報」まできめ細かくお伝えしました。昨年の大雨や台風の報道では、テレビ放送と併せインターネットでもライブ配信し、より詳細な災害情報を伝えるとともに、メディアの多様化への取り組みも推し進めました。



ゴゴスマ
～GOGO!Smile!～

なるほどプレゼンター!
花咲かタイムズ



イッポウ

4月からの番組トピックス

『チャント!』

(月～金曜 15:49～19:00放送)

13年にわたってお送りした『イッポウ』で培った「骨太の報道」をさらにパワーアップし、最新のニュース、身近な生活情報、芸能、天気などの情報を愛知・岐阜・三重の125市町村にとことん寄り添う形で「ちゃんと」伝える報道情報番組です。



チャント!

『健康カプセル! ゲンキの時間』

(日曜 7:00～7:30放送)

番組スタートから今年で8年目を迎え、新司会者に筧利夫、西尾由佳理が就任。専門ドクターから学んだすぐに役立つ健康情報をお届けします。



健康カプセル!
ゲンキの時間

『BACKSTAGE』

(日曜 23:30～24:00放送)

「働く人を応援する」というコンセプトでニッポンを支える人たちの情熱、技術、こだわりを仕事の現場の裏側も含めてお伝えします。

主な受賞

ドラマ

『スペシャルドラマ 父、ノブナガ。』
平成30年日本民間放送連盟賞
番組部門(テレビドラマ番組) 優秀

ドキュメンタリー

『ヤメ暴～漂流する暴力団離脱者たち～』
第55回ギャラクシー賞
テレビ部門 選奨

テレビCM

『これもアリだ! 平泳ぎ避難』
(公共キャンペーン・スポット 75秒)

『のびてるのが お好き』
(広告主・中野清水庵 90秒)

『もうひとつの結婚式』
(広告主・三澤武彦写真事務所 105秒)

平成30年日本民間放送連盟賞
CM部門(テレビCM) 優秀

ラジオ



CBCラジオ夏まつり2018

春の終活文化祭
～シニアにYELL～

「トークって近い」というメッセージのもと、リスナーに最も近く、地域に寄り添った番組を展開し、6月と12月の中京圏ラジオ個人聴取率調査(12才～74才)で総合1位を獲得しました。番組別の聴取率では、『つボイノリオの聞けば聞くほど』(月～金曜 9:00～11:55放送)、『多田しげおの気分爽快!!～朝からP・O・N』(月～金曜 6:30～9:00放送)、『北野誠のズバリサタデー』(土曜 9:00～11:40放送)といったワイド番組が、上位を独占しました。

恒例の『CBCラジオ夏まつり2018』(7月)や、2年目となる『春の終活文化祭～シニアにYELL～』(3月)は今回も盛況を博しました。また、出演する声優、アイドルによる番組連動イベントなども多くの来場者で賑わいました。

そのほか、番組コンテンツをWeb記事として再利用する「RadiChubu」は、ページビューが月平均で150万を超え、放送とネットの融合による新たなリスナー層の開拓に寄与しています。

4月からの番組トピックス

平日夕方からはドラゴンズ三昧

夕方に新番組『ドラ魂キング』(月曜 16:00～18:00 火～金曜 16:00～17:53放送)がスタート。ドラゴンズをはじめとしたスポーツの話題と生活情報、芸能ニュースまで幅広くお伝えします。ナイター中継のある火曜～金曜は、『ドラ魂キング』、『CBCドラゴンズナイター』(火～金曜 17:57～21:00(予定)放送)、試合直後の『ドラ魂ナイト』(火～金曜 21:00～22:00放送)の3番組でドラゴンズを試合前から終了後まで徹底応援しています。

土曜深夜は声優番組の揃い踏み

若手声優による『河西健吾 天崎滉平の天河一品』(土曜 23:30～24:00放送)が始まり、既に放送中の日本のトップ声優・神谷明の『神谷明TALK!×3』(土曜 23:00～23:30放送)、『白井悠介・寺島惇太 BOYS BAR[S]』(土曜 24:00～24:30放送)、『中島ヨシキのフブラジ』(土曜 24:30～25:00放送)と併せて、土曜の深夜は声優4番組の揃い踏みでお送りします。



ドラ魂キング

河西健吾 天崎滉平の
天河一品

神谷明TALK!×3

白井悠介・寺島惇太
BOYS BAR[S]

中島ヨシキのフブラジ

受賞

ドキュメンタリー

『最期への覚悟』

第55回ギャラクシー賞
ラジオ部門 大賞

追悼特別番組

『夢と感動をありがとう！
燃える男、星野仙一
～最後のメッセージ～』

平成30年日本民間放送連盟賞
番組部門(ラジオ教養番組) 優秀

ラジオCM

『かぶれちゃダメ!』

(広告主・福井薬局 40秒)
平成30年日本民間放送連盟賞
CM部門(ラジオCM第2種) 優秀

イベント・クロスメディア

明治期の皇室を彩った調度品などを展示した展覧会『明治150年記念 華ひらく皇室文化 明治宮廷を彩る技と美』（4月～5月）は、名古屋での開催の後、秋田、京都、東京の各地でも開催されました。また、国内で現存する民間トーナメントの中で、最も長い歴史を持つ『第59回中日クラウンズ』（4月）は、名古屋ゴルフ倶楽部和合コースで開催し、クラウンズウィークの1週間で約2万9千人のギャラリーが訪れました。

音楽イベントでは、イタリアの名門歌劇場『イタリア国立パリー歌劇場』（6月）の初来日公演など全6公演を開催した、名古屋を代表するクラシックの

祭典『第41回名古屋国際音楽祭』（4月～7月）をはじめとして、トップレベルのジャズアーティストが名古屋に集う『NAGOYA JAZZ WEEK 2018』（8月～9月）、CBCテレビ制作の音楽番組と連動したライブイベント『メイプル超音楽フェス』（2月）などを開催しました。

このほか、高層ビルを44階まで駆け上がるマラソンイベント『MIDLAND CHARITY SKYRUN』（4月）など、さまざまなジャンルのイベントを実施し、いずれも多くの来場者を集めました。

出資映画では、『七つの会議』が興行収入20億円を超える大ヒットとなったほか、『コーヒーが冷めないうちに』、『スマホを落としただけなのに』も興行収入10億円を超えました。



明治150年記念 華ひらく皇室文化
明治宮廷を彩る技と美



第41回名古屋国際音楽祭 イタリア国立パリー歌劇場 ©CBC/木村一成



第41回名古屋国際音楽祭 英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団 ©CBC/木村一成



メイプル超音楽フェス



MIDLAND CHARITY SKYRUN



©2018 映画「七つの会議」製作委員会

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善を背景に堅調に推移したものの、通商問題への懸念や海外経済の不確実性による影響もあって、先行き不透明な状況となっております。また、当社グループに影響を与えるテレビの広告市況につきましては、停滞気味に推移しました。

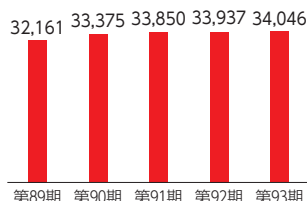
このような事業環境の下、当社グループの当連結会計年度の売上高は、340億46百万円(前期比0.3%増)となりました。利益面では、営業利益は24億18百万円(前期比13.0%減)、経常利益は28億29百万円(前期比11.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は16億93百万円(前期比14.1%減)となりました。

放送関連

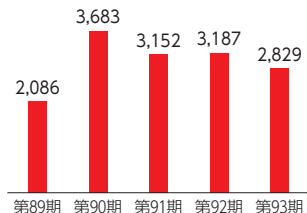
このセグメントは、当社、(株)CBCテレビ、(株)CBCラジオ、(株)CBCクリエイションならびに(株)CBCコミュニケーションズで構成されます。

当期は、テレビのタイム収入やイベント収入が増加し、さらに『ゴゴスマ』の放送エリア拡大に伴う番組販売収入も増加しました。しかし、その一方で、名古屋地区へのスポット投下量が前期を下回る状況の下、テレビスポット収入が減少したことから、「放送関連」の売上高は307億9百万円(前期比0.1%減)となりました。利益面では、テレビのタイム収入の増加による増益効果はあったものの、利益率の高いテレビスポットの減収により、営業利益は12億29百万円(前期比25.3%減)となりました。

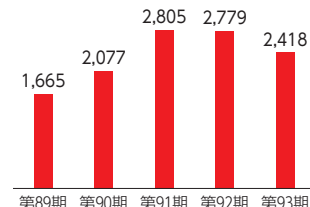
● 売上高 (連結)



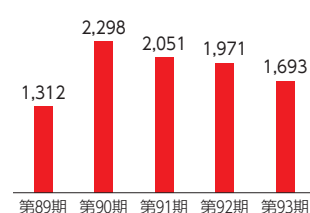
● 経常利益 (連結)



● 営業利益 (連結)



● 親会社株主に帰属する当期純利益



不動産関連

このセグメントは、当社と(株)千代田会館ならびに(株)CBCビップスで構成されます。

「不動産関連」は、東京および名古屋駅エリアの賃貸ビルにおける収入が増加となったことから、売上高は17億47百万円(前期比1.2%増)となりました。利益面では、東京の賃貸ビルにおいて修繕費が増加したものの、増収効果により営業利益は10億76百万円(前期比0.7%増)となりました。

その他

ゴルフ場事業を営む(株)南山カントリークラブ、保険代理業などを営む(株)CBCビップスならびにタクシー業を営む文化交通(株)で構成される「その他」は、売上高が15億90百万円(前期比8.9%増)、営業利益は1億12百万円(前期比25.2%増)となりました。

- 設立年月日 昭和25年12月15日
- 商号 中部日本放送株式会社 (略称CBC)
- 英文表示 CHUBU-NIPPON BROADCASTING CO.,LTD.
- 本社 名古屋市中区新栄一丁目2番8号
- 資本金 13億2千万円

■ 子会社の概況

会社名	資本金 (百万円)	当社の出資比率 (%)	主要な事業内容
(株) C B C テ レ ビ	100	100.0	放送法による放送事業 (テレビの放送)、番組制作販売、音楽・スポーツ等のイベント等
(株) C B C ラ ジ オ	20	100.0	放送法による放送事業 (ラジオの放送)、放送送出業務の請負
(株) CBCクリエイション	40	100.0	放送番組の企画制作
(株) CBCコミュニケーションズ	30	100.0	広告代理業
(株) 千代田会館	300	66.6	不動産の所有・賃貸・管理
(株) 南山カントリークラブ	410	100.0	ゴルフ場の経営
(株) C B C ビ ッ プ ス	60	100.0	不動産の所有・賃貸・管理、保険代理業、プレイガイド、OA機器販売
文化交通 (株)	20	100.0	タクシー業

■ 取締役および監査役

代表取締役会長	大石 幼一
代表取締役社長	杉浦 正樹
取締役	小杉 山一
取締役	岡谷 篤一
取締役	河野 英一
取締役	安井 香一
取締役	河津 市三
取締役	茶村 俊一
取締役	池田 桂子
取締役	林 尚樹
取締役	升 家誠
取締役	近藤 肇
取締役	林 正道
常勤監査役	伊藤 悦司
常勤監査役	富田 昌治
監査役	佐々木 和夫
監査役	三田 敏雄

株式情報・株主メモ (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000千株
 発行済株式の総数 26,400千株
 株主数 3,285名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社中日新聞社	2,602	9.85
竹田本社株式会社	1,700	6.43
株式会社三菱UFJ銀行	1,300	4.92
三井住友信託銀行株式会社	1,167	4.42
株式会社ナゴヤドーム	1,040	3.93
JP MORGAN CHASE BANK 380684	1,018	3.85
中部電力株式会社	883	3.34
株式会社名古屋銀行	825	3.12
名古屋鉄道株式会社	822	3.11
日本電気株式会社	696	2.64

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について	証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html
特別口座について	株主電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(https://hicbc.com) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、名古屋市中で発行される中日新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	名古屋証券取引所市場第一部

株主の皆さまへ 会社見学会 のご案内

CCOでは、放送局のしくみや設備について、身近にふれていただくための取り組みとして株主さま向けの会社見学を実施いたします。皆さまからのご応募を心よりお待ちしております。



日程	第1回目 2019年8月28日(水)10時から1時間30分程度
	第2回目 2019年8月29日(木)10時から1時間30分程度
	● 荒天等、諸般の事情により中止となる場合がございますので予めご了承ください。
実施場所	中部日本放送(名古屋市中区新栄1-2-8)
対象者	2019年3月31日現在、当社株式1単元以上をご所有の株主さま ※ご同伴者2名まで可能(小学1年生以上)
募集人数	各日30名
参加費	無料 集合・解散場所までの往復の交通費は各自の負担とさせていただきます。 また、昼食のご用意はございませんので予めご了承ください。
応募方法	同封の応募葉書に必要事項をご記入いただきご応募ください。 2019年7月31日(水)必着

ご応募に際しての確認事項

- ・ご応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。
- ・記入漏れなどの不備がございます場合、無効とさせていただきます。
- ・ご見学時は1時間程度の徒歩移動・階段の昇り降りがございますので予めご了承ください。
- ・ご参加は、応募葉書に記載された株主さまとご同伴者さまに限らせていただきます。
- ・ご見学時に当社が撮影した見学の模様は、当社発行刊行物、Webページに記載させていただきます場合がございますので予めご了承ください。
- ・当社は駐車場、駐輪場のご用意はございませんので公共交通機関でお越しください。
- ・厳正な抽選のうえ、結果につきましては当選された株主さまのみ郵送にてご案内いたします。

- ・荒天等、諸般の事情により中止となる場合がございますので予めご了承ください。

中止の場合、ご参加予定の株主さまに直接連絡をいたしますので応募葉書には当日、連絡が取れる連絡先のご記入をお願いいたします。中止となった段階で当社ホームページにも掲載いたします。

- ・いただいた個人情報は、会社見学会の抽選・ご連絡・ご案内のためのみ利用させていただきます。

問合せ先 **中部日本放送 総務部**
(052) 241-8111 [代表]
10時～18時
※土曜・日曜・祝日を除く



本 社

〒460-8405 名古屋市中区新栄一丁目2番8号

電話 (052)241-8111(代表)